

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	158 多文化共生推進事業					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費				担当部課	市民部国際交流室
市長公約	15				係名	
戦略プラン	Ⅲ-3	1	2	国際理解講座や文化交流事業の開催	新規・継続	継続
	Ⅲ-3	1	3	日本語支援体制の充実	事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画	つくば市グローバル化基本指針				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	04質の高い教育をみんなに
						10人や国の不平等をなくそう
						16平和と公正をすべての人に

## 事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）
目的	つくば市国際交流協会等と連携し、多文化共生を推進する事業を行うとともに、つくば市グローバル化基本指針を策定し、国際意識の啓発と多文化共生社会の形成を図る。
概要 (取組内容)	第2次つくば市グローバル化基本指針の策定 青少年の国際感覚を醸成するために国際理解講座を実施 国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習支援 外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催

## コストの推移

項目			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
事業費	予算額	(千円)	35,087	35,395	35,844	35,437	35,437	
	決算額	(千円)	31,438	31,742	35,036	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	31,438	31,742	35,036	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,405	6,854	10,738	12,788	12,788	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.50	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	252.40	22.00	200.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	外国人市民意識調査
企画・立案、計画	第2次つくば市グローバル化基本指針策定懇話会
実行	市ホームページおよび広報紙による情報発信
評価、検証	第2次つくば市グローバル化基本指針策定懇話会

## 指標の推移

指標名	事業の実施数 (事業)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	15.0	16.0	16.0	17.0	17.0	17.0
実績	15.0	10.0	16.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 市及び市国際交流協会が実施している多文化共生に関する事業数(市内国際交流活動のみ)					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	オンライン環境が整備されるとともに、スタッフ自身がノウハウを身に付け、円滑に事業を実施することができた。また、本年度、新型コロナウイルス感染症の拡大後、初めて、オンラインツールを活用して国際交流フェアに参加するなど、新しい形の交流も模索し始めている。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次つくば市グローバル化基本指針策定のため、「つくば市外国人市民意識調査」を実施</li> <li>・市内公立小中学校向け国際理解講座の実施：市内13校で34講座を実施。1,164名参加</li> <li>・オンラインを活用した国際交流協会主催事業：延べ6,464名参加（大人向け日本語講座：延べ231名、子ども向け日本語講座等：延べ653名、世界お茶のみ話：全11回延べ119名、Youtube再生回数5,406回等）</li> </ul>
課題	<p>業務</p> <p>本年度実施したつくば市外国人市民意識調査で得られた課題を踏まえた施策を立案、実施する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>外国人市民の集う場、外国人市民の日本語学習や外国にルーツを持つ子どもたちの学校生活や学習支援の場の拡充が必要である。</p>
改善目標	行政サービスの認知度向上、周知強化を図るため、多言語情報の発信方法及び発信ツールについて、再検討を行う。また、外国人市民の生活支援や日本語学習支援、国際交流のあり方を関係機関とも連携し、協議を行いながら、国際交流拠点の整備へ向けた準備を行う。

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	159 外国人生活支援事業（旧：国際交流員・留学生交流員事業）					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン	Ⅲ-3	1	1	市役所窓口や消防業務における多言語対応	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					10人や国の不平等をなくそう	

## 事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、市職員
目的	言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減し、外国人住民の生活を支援する。
概要 （取組内容）	外国人相談窓口の運営及び来庁した外国人の通訳・案内 市が発行する文書や冊子等の翻訳 留学生交流員を委嘱し、8か国語の外国語広報紙を発行 4言語の多言語ホームページでの情報発信

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	6,126	8,516	7,484	7,616	7,616	
	決算額	(千円)	6,380	6,902	5,235	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,841	6,554	5,235	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	539	348	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,932	7,144	12,476	13,842	13,842	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.80	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	60.20	140.00	72.00	72.00	72.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

## 市民参加の取組状況

共有、理解	多言語ホームページ及び外国語広報紙作成のための情報共有
企画・立案、計画	特になし
実行	多言語ホームページ及び外国語広報紙での情報発信
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	相談対応・通訳件数 ( 件 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	680.0	680.0	705.0	730.0	755.0
	実績	711.0	576.0	711.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策Ⅲ-3-①多様性をいかした社会の推進) 通訳対応件数及び外国人相談窓口相談件数						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	英語以外の言語での相談件数も増加を図るため、外国語広報紙の配布場所の拡大等により多言語サービスについての周知強化を行った。また、各種研修に参加し相談員の知識向上を図るとともに、室内で相談内容を共有するミーティングを定期的で開催することとし、体制強化を図った。	
成果	外国人相談窓口件数計：711件(英語531件、中国語94件、日本語40件、その他の言語46件) 庁内文書の翻訳件数：合計240件(英語188件、中国語33件、その他の言語19件) 外国語広報紙(8言語)発行計：年4回で12,492部	
課題	業務	多言語による情報発信媒体の認知度が依然として低いため、継続して周知を行う。また、外国籍市民が必要とする情報にアクセスしやすいように発信方法や内容の整理を進める必要がある。
	組織、予算等	今後も相談件数の増加が見込まれるため、頻度の多い相談内容や、相談ごとの引継ぎ先などを共有し、迅速に対応ができる体制を整える必要がある。
改善目標	保育所や税金、経済支援など件数の多い相談については室内で情報を共有するとともに、庁内関係各課との連携を強化することで、増加する相談に対し迅速かつ正確な対応を行う。また、多言語情報の発信についてはホームページの移設等によりアクセス性の向上を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

#### 方向性

方向性	継続	
理由	-	

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	160 国際化教育支援事業					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（間接）	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	04質の高い教育をみんなに	

## 事業の概要

対象	国際基準の認定を受けている市内の各種学校
目的	市内で国際標準の教育を受けられる環境の充実を図るとともに、外国の優秀な研究者の招致を容易にする。
概要 (取組内容)	国際基準の認定を受けている市内の各種学校（「学校教育法の第1条に規定される学校」以外で、日本において学校教育法に基づいて学校教育に類する教育を行うもので、所定の要件を満たす教育施設のこと）を支援する。 国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムの取得・維持に係る経費に対し、補助金を支出する。

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,000	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,048	1,360	1,367	1,367	1,367	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	補助対象学校の児童・生徒数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	180.0	260.0	280.0	280.0	280.0	280.0
	実績	263.0	266.0	285.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	令和3年5月1日の確定値						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修をオンラインで実施するだけでなく、校内のインスクール研修を充実させた結果、適切な補助対象経費の運用が可能となった。	
成果	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の教育プログラム事業の継続に資することができ、市内において国際基準を満たす教育を提供し得る環境の充実を図ることに寄与した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修の開催地や査察対応の有無により、年によって補助対象経費が大きく変動する。
改善目標	国際バカロレア教育プログラム認定の維持に必要な研修の開催地や査察対応の有無により、年によって補助対象経費が大きく変動するため、研修プログラムに関するヒアリングや協議により、適切な補助対象経費の算定を図る。	

#### 評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 3年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	161 姉妹・友好都市交流事業					
予算科目	01-030110-19 国際化の推進に要する経費			担当部課	市民部国際交流室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市グローバル化基本指針			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	04質の高い教育をみんなに	
					10人や国の不平等をなくそう	
					16平和と公正をすべての人に	

## 事業の概要

対象	市民（市内に在住・在勤・在学する者を含む）、行政機関
目的	教育や文化、経済交流など、姉妹・友好都市を含む海外都市との交流を推進することで、つくば市の特性をいかした事業展開を図る。
概要 (取組内容)	教育、文化、経済面での交流 訪問団の派遣、受入れ 相互の行政視察実施 市が携わる国威際交流事業に係る調整及び通訳

## コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,177	2,598	2,868	2,868	
	決算額	(千円)	5,780	93	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,780	93	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,160	1,438	3,430	6,951	6,951	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.30	0.21	0.50	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	138.70	4.00	5.00	48.00	48.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	交流都市とのオンライン交流イベントへの市民参加
評価、検証	特になし

## 指標の推移

1	指標名	姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	実績	112.0	2.0	52.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	R 3 内訳：韓国大田広城市とのオンライン交流事業参加者数50名、深セン市ハイテクフェア出展事業所 2 社					

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により相互の往来を通じた交流は実現できなかったが、深セン市のオンラインイベントへの参加や、国際交流協会が大田広域市と交流事業（オンライン講座）を行うなど、オンラインを使用した新しい形での交流を実施することができた。
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国深セン市：World Innovative Cities Cooperation Organization (WICCO) に加入 5/17</li> <li>中国深セン市：WICCO World Innovative Forum に市長登壇（動画） 11/18</li> <li>中国深セン市：ハイテクフェアにつくば市の企業が参加（オンライン） 12/27-12/31</li> <li>韓国大田広域市：韓国の工芸と料理の体験イベント開催（オンライン、現地）11/17, 27, 12/4, 11</li> </ul>
課題	<p>業務</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、相互の行き来による交流は困難な状況が続いており、オンラインを活用した新たな交流の形を引き続き模索する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>特になし</p>
改善目標	新型コロナウイルス感染症収束後は対面での交流を再開するとともに、オンラインを活用した交流事業も継続する。行政視察受入再開に際しては、令和元年に作成したフォーマットを活用し、業務の改善を図る。

#### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	—